

<対策のポイント>

近年、漁具を含む海洋プラスチックは、ゴーストフィッシング等により、クジラを含む海洋生物に与える影響が懸念されており、影響の把握と対策が急務となっていることから、海洋プラスチックがクジラ等に与える影響を調査するとともに、その影響を抑制する漁具の開発を支援します。

<政策目標>

- ・資源管理の高度化、安定的な捕鯨業の実施と国際的な鯨類資源管理の推進

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 漁具を含む海ごみによる鯨類への影響調査

① 文献調査 胃内容物調査

ゴーストフィッシングなど漁具による鯨類への影響を文献等を通じて調査・整理するとともに、鯨類による海洋プラスチックごみの摂食実態の把握を行います。

② 超微細なマイクロプラスチックによる影響調査

まず、低次段階の生物への影響を調査し、食物連鎖を通じて高次段階の生物に与える影響を推定します。

2. 環境配慮型漁具の開発・実証

海洋への漁具の流出及び海洋生物への負荷を抑制するため、海洋生物が生分解性プラスチック製漁具を摂取した場合の影響やゴーストギアによる影響を踏まえ、生分解性漁具の改良を図るとともに、水平リサイクル技術の開発を進めます。

<事業の流れ>



鯨類など海生生物への影響



誤食
出典：タイ天然資源環境省



絡まり
Photo: Lauren Packard/Hay/MG/Lejo/Way/CC BY 2.0



マイクロプラスチックを通じた化学物質の影響

漁具を含む海ごみによる鯨類への影響調査

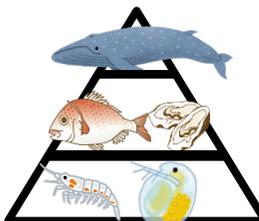
- ・文献調査・レビュー
- ・調査手法の検討
- ・胃内容物調査の実施
- ・プラスチックを接触した場合の影響を分析



環境配慮型漁具の開発・実証

生分解性漁具の開発





・マイクロプラスチックによる化学物質の影響を把握
・食物連鎖を通じた影響を分析
等



水平リサイクル